

県内経済動向調査結果(平成21年5月分)

平成21年7月6日
産業経済政策課

概 況

県内経済は、製造業で一部下げ止まりつつあるが、生産の減少が続いており、総じて厳しい状況となっている。

主な業種	状 況
製 造 業	一部下げ止まりつつあるが、減産が続き低迷している 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比30.7%減、同32.3%減となった。 3か月先の業況見通しDIは4.8から9.5となった。
建 設 業	厳しい状況が続いている 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比8.1%増、同38.5%減となった。3 か月先の業況見通しDIは▲53.3から▲6.7となった。
小 売 業	引き続き弱い動きとなっている 売上高は前年同月比で1.9%増、3か月先の業況見通しDIは▲22.2から ▲25.0となった。
サービス業	運輸業で低調となっている 売上高は前年同月比1.6%減、3か月先の業況見通しDIは▲3.7から3.8 となった。

製造業の動向

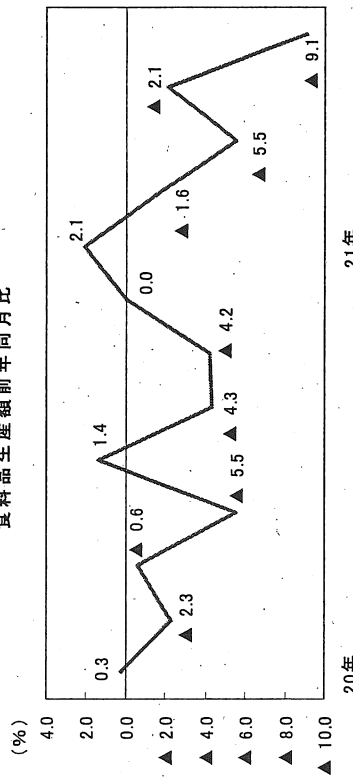
1 食料品

弱い動きが続く

生産額は前年同月比9.1%減。3か月先の業況見通しDIは▲28.6から▲35.7となった。

酒類では、特に県内や飲食店関係での伸び悩みが響き前年比1割以上の減となっている。厳しい状況にある景気や消費者の嗜好の多様化による日本酒離れから減産傾向が続き、食料品全体を押し下げ要因となった。調味料関連、菓子類、加工食品でも前年同月比減の弱い動きとなっている。

食料品生産額前年同月比



20年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月
21年

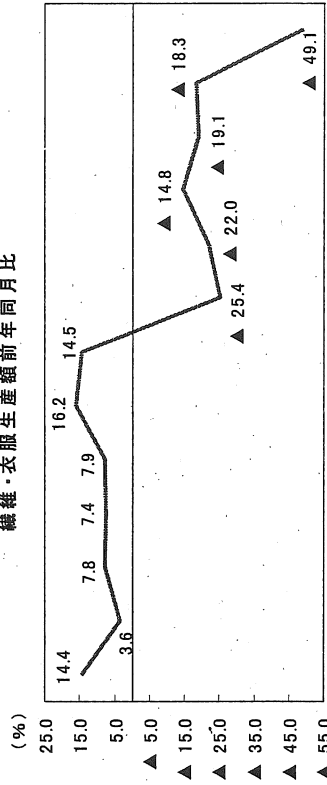
2 繊維・衣服

低調な生産活動が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比49.1%減、同40.5%減。3か月先の業況見通しDIは▲83.3から▲66.7となった。

景気悪化による消費の冷え込みで、低調な生産活動が続いている。衣料市場において低価格帯の商品に注目が集まっている中で、百貨店での売上が悪化しているほか、商品の値下げを実施している企業も見受けられる。雇用調整のための休業も行われており、今後も厳しい状況が続くとみている企業が多い。

繊維・衣服生産額前年同月比



20年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月
21年

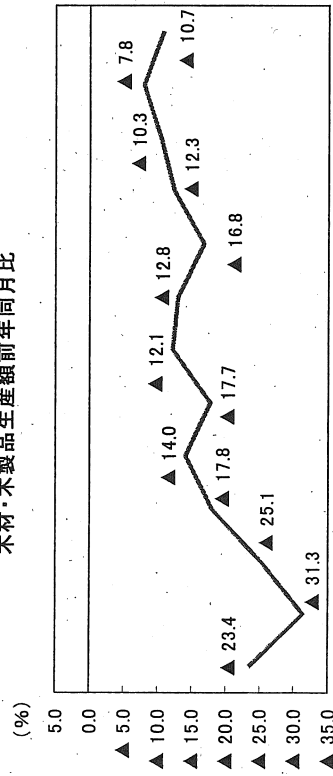
3 木材・木製品

21カ月連続マイナス、厳しい状況が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.7%減、同10.6%減。3か月先の業況見通しDIIは16.7から8.3となった。

一般製材において土木資材関係が好調で、前年同月比プラスとなっている企業もあるものの、全国的に住宅市況が低迷していることから、合板、集材では低調な生産活動が続いている。生産調整のため一部工場の操業停止や休業による雇用調整を行っている企業もあり、依然として厳しい状況が続いている。

木材・木製品生産額前年同月比



20年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 21年

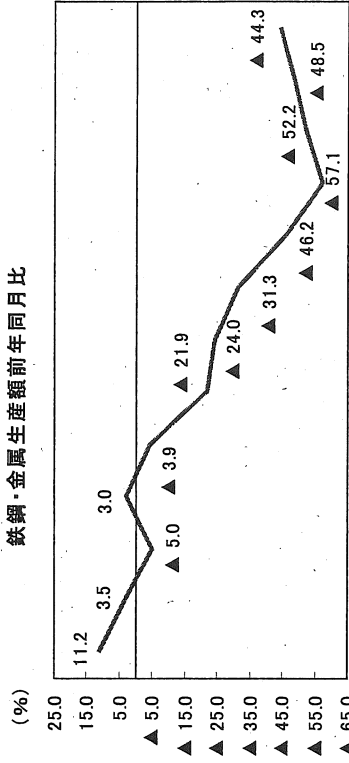
4 鉄鋼・金属製品

低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比44.3%減、同41.4%減。3か月先の業況見通しDIIは9.1から27.3となった。

電気機械関係では、ゴールデンウィーク休暇等により工場稼働日が少ないにもかかわらず、今年最大の生産額を計上するなど底を脱しつつある企業も見受けられるものの、依然として前年比5割以上の減産となっている企業も多く、総じてみれば低迷している。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



20年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 21年

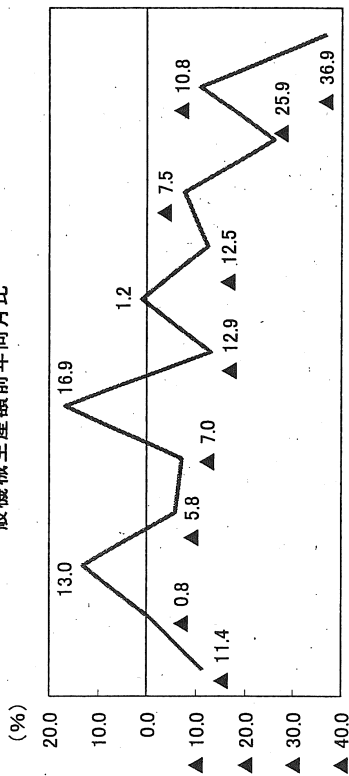
5 一般機械

悪化している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比36.9%減、同52.7%減。3か月先の業況見通しDIは0.0と変わらない。

公共工事関連では、堅調な生産活動が続いている企業も見受けられるものの、一般産業機械では、自動車業界の冷え込みなどの影響を受け引き続き生産が減少しており、悪化している。

一般機械生産額前年同月比



20年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月
21年

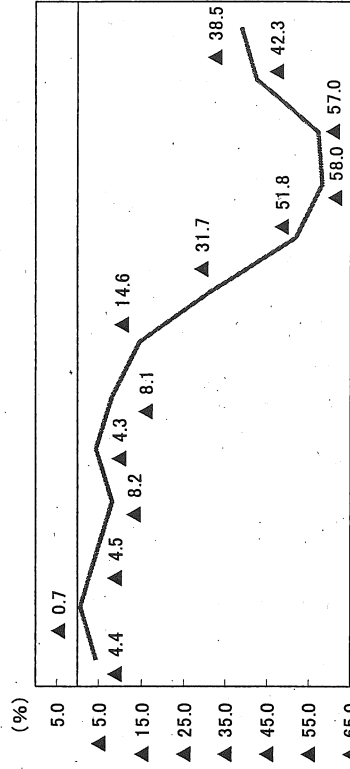
6 電気機械

一部下げ止まりつつあるが、減産が続く

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比38.5%減、同39.4%減。3か月先の業況見通しDIは31.6から26.3となった。

コンデンサーでは、海外向けが堅調で下げ止まりつつあり、生産が回復傾向にある。一方で通信部品や半導体では、生産額が前年同月比7割以上の減となっている企業も見受けられるなど、総じて見れば減産が続いている。

電気機械生産額前年同月比



20年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月
21年

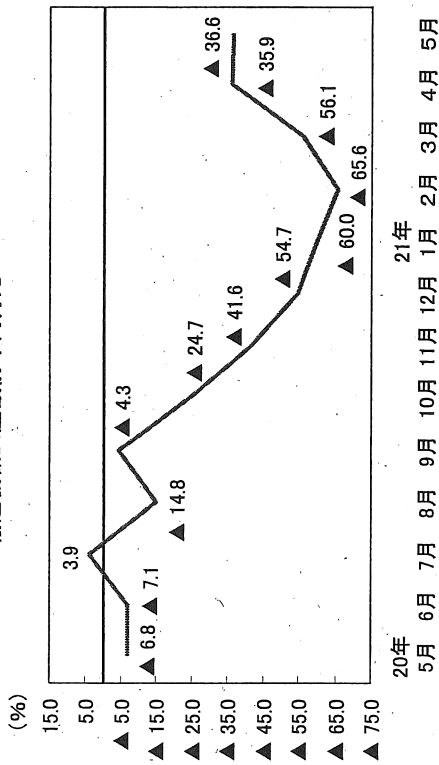
7 輸送機械

減産が続き、低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比36.6%減、同36.1%減。3か月先の業況見通しDIIは71.4と変わらない。

前年同月比ではマイナスであるものの一部で在庫調整の進展により生産が増加傾向にある企業も見受けられる。総じて見れば、減産が続き、低迷している。多くの企業で操業停止日や休業日を設け減産に対応している。

輸送機械生産額前年同月比



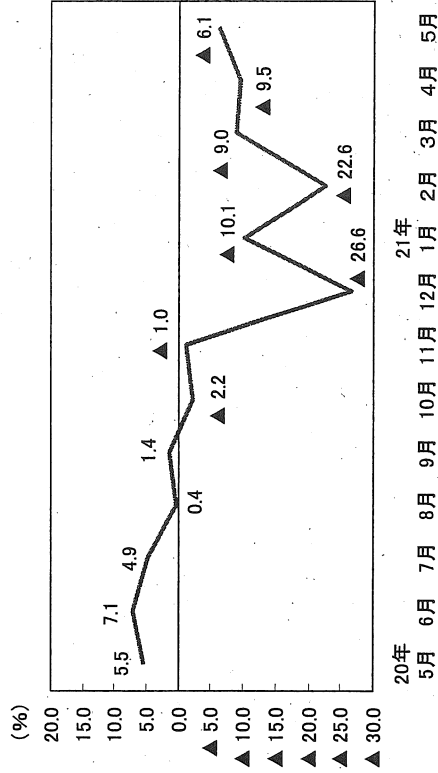
8 精密機械

低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比6.1%減、同5.2%減。3か月先の業況見通しDIIは12.5から37.5となった。

医療機器関連では前年比増となっており、底堅い動きとなっている。光学ファイバー関連では中国向け製品が好調で増産となっている。光学部品、計量関連においては受注額が増加傾向にある企業も一部見受けられるものの、前年同月比ではマイナスが続いており、総じて見ると低迷している。

精密機械生産額前年同月比



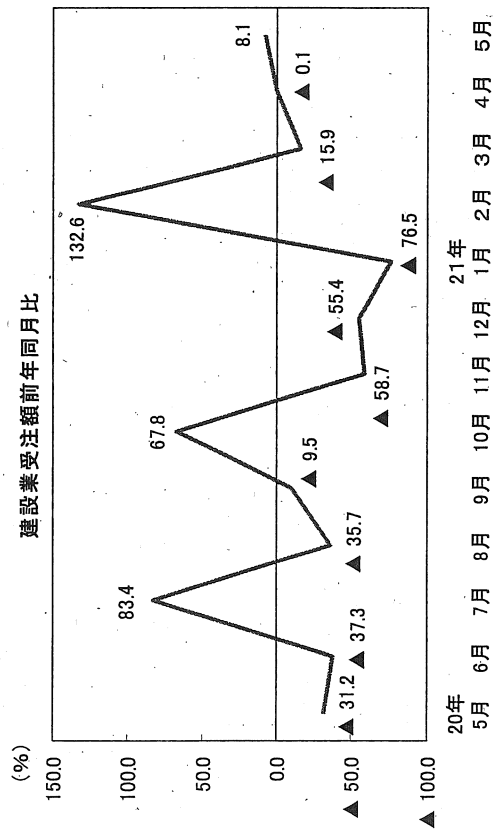
建設業の動向

建設業

厳しい状況が続く

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比8.1%増、同38.5%減。3か月先の業況見通しDIIは▲53.3から▲6.7となった。

経済対策としての公共工事の前倒し発注の効果もあり、受注額は前年同月比プラスとなっているものの、受注競争は激化している。一部従業員を休業させる企業もあり、業界全体として厳しい状況は続いている。



小売業の動向

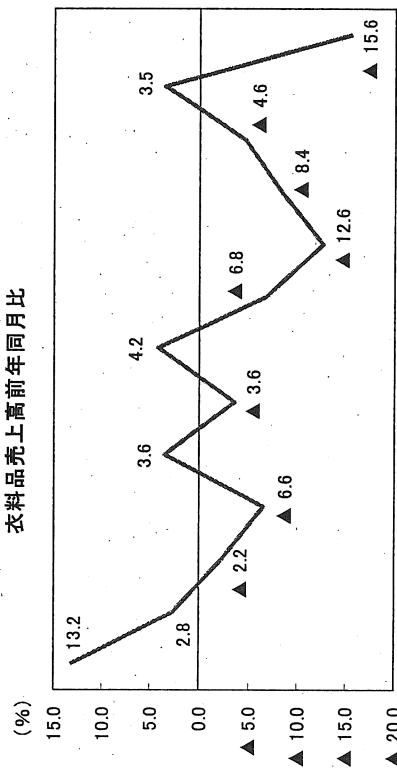
1. 衣料品

低調な売上となっている

売上高は前年同月比15.6%減。3か月先の業況見通しDIIは▲80.0から▲50.0となった。

前年にセールを行ったことの影響により前年同月比が大きく減少した企業があったことから、その影響により全体としてマイナス幅が大きくなった。各地域におけるプレミアム商品券による大きな効果は見られず、低価格競争が続き低調な売上となっている。

衣料品売上高前年同月比



2020年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月
21年

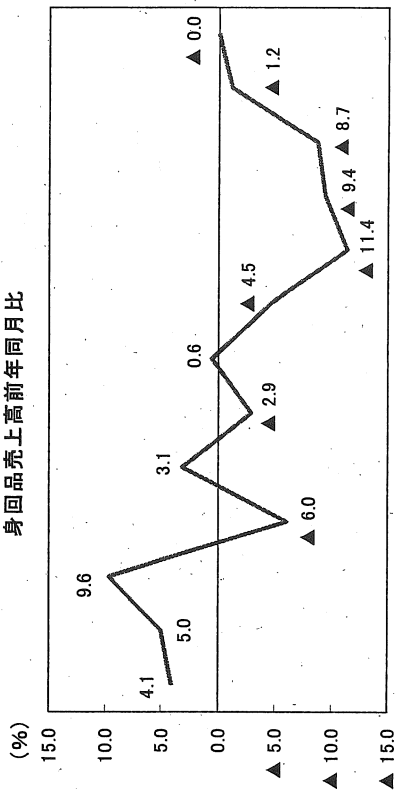
2. 身回品

売上の落ち込みが続く

売上高は前年同月比0.0%減。3か月先の業況見通しDIIは▲33.3と変わらな

い。ホームセンターにおいて、園芸用品、建築資材等で売上を伸ばした企業もあるものの、客単価は減少している。化粧品や手芸用品では買い控え傾向が続くなど、総じて見れば、売上の落ち込みが続いている。

身回品売上高前年同月比



2020年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月
21年

3 飲食料品

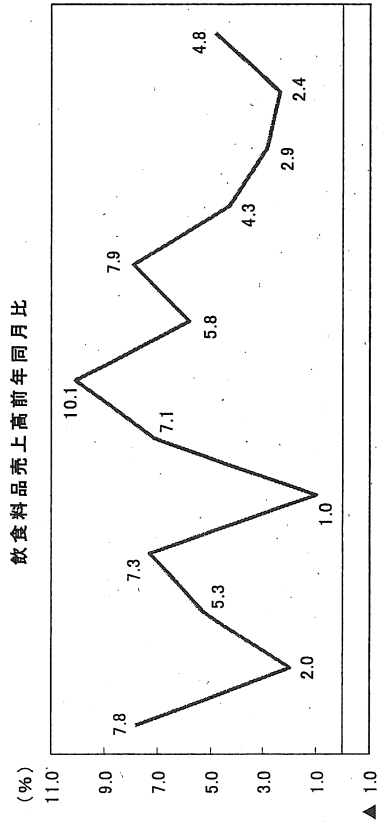
底堅い売上が続く

売上高は前年同月比4.8%増。3か月先の業況見通しDIは▲9.1から▲18.2となった。

酒類でプレミアム商品券の利用により売上が伸びた企業も一部あることなどにより、飲食料品全体でみると底堅い売上が続いている。

一方で、スーパーにおいては、競合店との競争激化等により収益性の悪化している企業も見受けられる。

飲食料品売上高前年同月比



2020年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2021年 1月 2月 3月 4月 5月

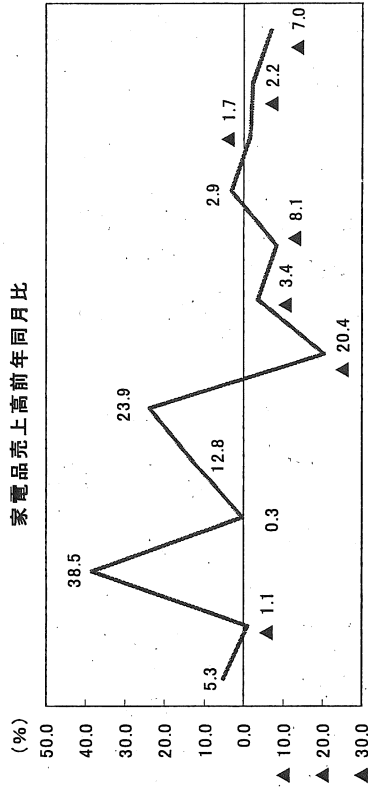
4 家電品

やや弱い動きとなっている

売上高は前年同月比7.0%減。3か月先の業況見通しDIは20.0から0.0となった。

薄型テレビ、カーナビ、DVDレコーダーの売上は堅調に推移している。エコポイントの効果により売上が伸びた企業もあるものの、全体を押し上げるまでとはなっておらず、総じて見るとやや弱い動きとなっている。

家電品売上高前年同月比



2020年 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2021年 1月 2月 3月 4月 5月

サービス業の動向

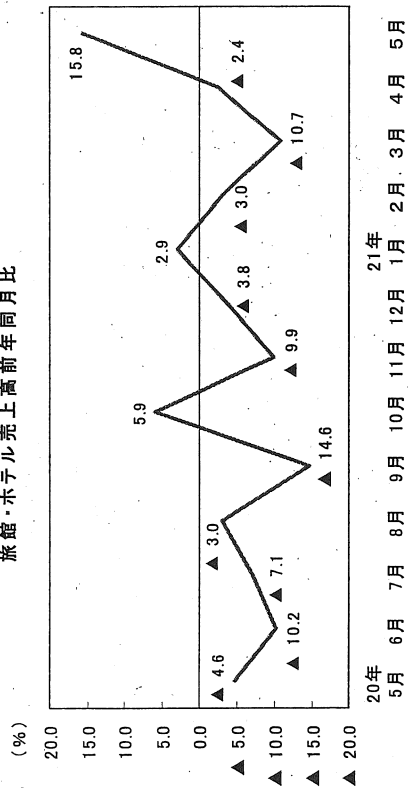
1 旅館・ホテル

婚礼部門の売上が伸びる

売上高は前年同月比15.8%増。3か月先の業況見通しDIIは0.0から6.7と
なった。

曜日配列で六輝の巡り合わせが良かったことや、大口の婚礼があったこと
などにより、婚礼部門が大幅に伸びた企業が見受けられ、全体としては売
上が増加することとなったものの、一時的特殊要因の影響によるものであ
り、厳しい状況が続いていくと考えている企業も多い。

旅館・ホテル売上高前年同月比



2 その他サービス

運輸業で低調となっている

売上高は前年同月比11.7%減。3か月先の業況見通しDIIは▲7.7から0.0と
なった。

道の駅では、団体客が人数ベースで増加したこと、ETC割引の効果、ゴー
ルデンウィーク期間天候に恵まれたことにより売上が増加したものの、客単
価はそれほど伸びていない。

運輸業では、景気悪化によるタクシー客の減少、自動車関連部品貨物の
減少により低調な動きとなっている。

運輸業・その他サービス売上高前年同月比

